

授業概要

「スポーツ企業」とは、スポーツ用品メーカーやスポーツ小売店、フィットネスクラブ、スポーツイベント会社、スポーツメディアなどのスポーツを製品・サービスとして取り扱う企業のことであり、「スポーツ企業経営」とは、スポーツを製品・サービスとする企業の存続・成長を考えていくことである。本講義では、スポーツを製品・サービスとする企業の存続・成長の方法であるスポーツ企業経営の理論と実態について講義していく。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、スポーツ企業経営とは
第 2 回	スポーツ企業経営の基本原理
第 3 回	スポーツ企業の製品開発
第 4 回	スポーツ企業の価格戦略
第 5 回	スポーツ企業のプロモーション
第 6 回	スポーツ企業のブランド戦略
第 7 回	スポーツ企業の流通戦略
第 8 回	スポーツ消費者行動
第 9 回	スポーツ・スポンサーシップ
第 10 回	メディア・リレーションズ
第 11 回	プロスポーツのマネジメント
第 12 回	スポーツイベントのマネジメント
第 13 回	フィットネスクラブのマネジメント
第 14 回	スポーツ施設のマネジメント
第 15 回	スポーツツーリズム
第 16 回	レポート

到達目標

経済のグローバル化と知識基盤社会における地域経済の活性化に対応するため、スポーツビジネス・企業経営の専門知識・技能を修得し、かつ自己で考え、判断し、論理的に表現できる能力を身につけること。

履修上の注意

- ・後列ばかりに固まらないこと（極端に後列に固まる場合は着席を分散させる）。
- ・安易にメールを使用せず何かあれば、対面で質問・確認してほしい。

予習・復習

予習はテキストの指定された箇所に通すようにすること。復習はテキスト、配布資料に通すこと。

評価方法

講義内において課すワーク 90点（1回6点×15回） レポート 10点

- ※ 60点以上の点数取得者を合格とする。但し、レポートの未提出者には単位を与えない。
- ※ 6回欠席した学生には単位を認定しない（発熱・コロナウイルスを理由にした欠席は後日相談すること）。

遅刻は減点する（遅延証明書は回数制限付きで受領する）。スマホいじり、私語、内職は注意の上改まらない場合は減点する。

テキスト

- ・教科書名：スポーツビジネス論—理論と実態—
- ・著者名：大野貴司・齋藤れい
- ・出版社名：三恵社
- ・出版年（ISBN）：978-4-86693-349-8